

2013年12月16日

横浜ゴム、タイのタイヤプルービンググラウンドを拡充

横浜ゴム(株)はタイ・ラヨン県にある総合タイヤプルービンググラウンド「Tire Test Center of Asia」の拡充工事をこのほど完了、10月9日に現地で完成式を開催した。今回拡充したのはドライ用2.5km、ウェット用1.5kmの2種類のハンドリング試験路、スキッドパッド、コーナーハイドロプレーニング路の4種類の試験路。ハンドリング試験路ではドライ、ウェット時でのタイヤの総合性能と車とのマッチング、スキッドパッドではウェット時のタイヤのグリップ性能、コーナーハイドロプレーニング路ではパターンを含めた総合的なタイヤ排水性能をそれぞれ評価する。今回の拡充により、「Tire Test Center of Asia」においてタイヤの運動性能、振動性能のすべての評価が可能になった。

「Tire Test Center of Asia」は2009年4月にオープンした。敷地面積は東京ドームの36倍に当たる169万㎡あり、オープン当初から、時速200kmを越える高速走行試験が可能な4.1kmの高速周回路、10万㎡にのぼる総合試験路、アジアの一般路を再現した4.2kmの外周路、悪路耐久路などを備えている。総合試験路は全長1kmあり、スラローム走行で高速レーンチェンジ試験が可能なほか、ウェット試験路、乗り心地やノイズ評価が行える特殊試験路も設けられている。

横浜ゴムは「Tire Test Center of Asia」を設立する以前、日本の総合タイヤプルービンググラウンド「D-PARC」と冬用タイヤ専門プルービンググラウンド「T-MARY」を中心にタイヤ評価を行っていた。しかしグローバルなタイヤ事業の拡大に対応し、より大規模なタイヤ評価施設が必要と判断、アジアのデトロイトと言われる自動車大国タイに新たにタイヤ評価施設を建設した。タイは年間の気温変化が小さく1年に渡って同一条件で試験が行えることも進出の決め手となった。



「Tire Test Center of Asia」の全景(左)と10月9日に開催した拡充工事完成式の模様(右)

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム(株)広報部 担当: 田中

TEL: 03-5400-4531 FAX: 03-5400-4570